



あすなる

有田市立保田小学校 校長室便り

令和4年6月14日発行

第5号

(文責 校長 出口雄三朗)

「見て！見て！記録伸びた！」

5月17日を中心としながら、各クラスの体育の授業でも「体力テスト」に取り組みました。子どもたちはみんな一生懸命！精一杯頑張っていました。

結果については、昨年とあまり変わらない子、かなり伸びた子…様々ですが、どっちであっても自分の頑張ったことを話したいので、声をかけてくれました。「見て！見て！去年より伸びたでえ」「う～ん、あんまり変わらんかったわぁ」…。やっぱり子どもって、結果はどうであれ、自分のことを見て欲しいし、わかって欲しいと思っているのだなぁと思いました。子どものことをしっかりと見ることができる学校、教師でありたいと改めて感じました。



「慮る」…読める？

先日、5年生の自然教室の出発式で「慮る」と書いた紙を見せ、「なんて読むかわかる？」と問いました。知っている子は少なかったですが、その意味を問うと「相手のことを思いやること」と近い意味を答えてくれました。続けて、「自然教室では是非『慮る』ことを頑張ってください。」と話しました。

活動の中では、いろんな「慮る」に出会いました。飯ごう炊きで、薪が足りなくなる前に、それを見越して薪を持ってきた子…朝の掃除の時間に、掃いたゴミが集まり始めたのを見て、ちりとりを用意しに行った子…キャンプファイヤーのゲームの時、段取りよく動いた子…みんな、自分のことだけでなく、周囲のことにしっかり気を配りながら活動していました。とても素晴らしいと感じました。



6年生は「自律」…

6年生の修学旅行に行く前には、「自律」について子どもたちに話しました。「どんな意味かわかる？」と問うと、「『律』は『法律』の律だから、自分で自分の法律に従うことだ」という答えが返ってきました。なんて素晴らしいのだろうと感じました。さすが最上級生…素晴らしいです。

旅行中も、素晴らしいことにたくさん出会いました。奈良の大仏を見上げながら「デカッ!!」とその大きさに驚嘆の声を上げながら、興味深げに見上げる姿、また琵琶湖博物館で、無言で展示に見入る姿…本当に素晴らしいと感じました。きっと事前学習で見学場所について調べ、一人一人が、それぞれ自分なりの課題をしっかりとっていた証拠なのだと感じました。

